

那覇空港調査PI評価委員会(仮称)の設立趣旨(案)

那覇空港は、平成14年12月の交通政策審議会航空分科会の答申において、「将来的に需給が逼迫する等の事態が予想されることから、今後の航空需要の動向等を勘案しつつ、既存ストックの有効活用方策や滑走路増設を含む抜本的な空港能力向上方策等について、幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進める必要がある。」と位置づけられた。

これを受けて、平成15年9月に、内閣府沖縄総合事務局、国土交通省大阪航空局、沖縄県により那覇空港調査連絡調整会議が設置され、那覇空港が抱える課題と対応策について、国と地域が連携して総合的な調査を進めているところである。

また、同会議においては、総合的な調査の透明性向上を図るための手続きのルール化について検討を行い、平成16年7月に「那覇空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」を策定・公表したところである。

「那覇空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」においては、PIの実施状況全般についての妥当性等の検証を行いながら、適切なPIを実施していく必要があるとし、PIの進め方等についての透明性を確保し、公平、公正な立場で、評価、助言を行うアドバイザーチームを設置することが方針として示された。

このような背景のもと、那覇空港調査連絡調整会議は、「那覇空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」に示された方針を踏まえ、PI手続きの透明性を確保し、公平、公正な立場から、PIのプロセスや結果について評価、助言していただくことを目的として、那覇空港調査PI評価委員会(仮称)を設立する。

平成17年3月
那覇空港調査連絡調整会議